

胃排出能試験用「バリウム・ボール」の試作

おか 岡	の 野	かず 一	あき 亮 ¹⁾	き 木	さ 佐	とし 俊	ろう 郎 ²⁾
さか 酒	い 井	やす 康	お 生 ²⁾	いわ 岩	なり 成	まさ 正	え 恵 ¹⁾

キーワード：胃排出能，硫酸バリウム，造影能，経管栄養

要 旨

脳卒中を罹患した患者は往々にして、嚥下困難・障害を発症し易い。このような患者は経静脈栄養を含め各種栄養管理下にあり、各々の栄養管理下において胃の運動および排出能に差異が生じることは周知のことである。それを目視で確認することは、患者個々の消化器の状態を把握できるとともに、各種栄養方法選択の一つの指標となり得る。そこで著者らは放射線下において独自に目視で確認できる「バリウム・ボール」を作成したので、ここに報告する。

はじめに

脳卒中を罹患した患者は往々にして、嚥下困難・障害を発症し易い。このような患者は経静脈栄養を含め各種栄養管理下にあり、各々の栄養管理下において胃の運動および排出能に差異が生じることは周知のことである。それを目視で確認するために米国 Konsyl 社製 Sitzmarks^{®1)} を使用したいところである。しかしながら、経管栄養用のチューブの管の中をリングから外したバリウム・ボールが通過するかどうか疑わしいこと。また高価なことを含め、輸入による入手が困難なことを理由に、この使用を断念せざるを得なかつ

た。そこで著者らは、独自に代替品（以下「バリウム・ボール」という）を作成するにいたった。

対象と方法

対象：当院のリハビリテーション患者で摂食・嚥下障害のため経管栄養中の患者2名
(65才 男 脳出血後遺症, 35才 男 頭部外傷後遺症)

方法1. 「バリウム・ボール」の作成

I. 作成材料 (図1)

- ① 直径2.5~3 mm 球体のタピオカ=食品、市販品「マレーシア産」=
- ② 98W/W%準高濃度硫酸バリウム粒状 (以下「バリウム」という)

Kazuaki OKANO et al.

1) 出雲市民リハビリテーション病院薬剤科

2) 同 リハビリテーション科

連絡先：〒693-0033 出雲市知井宮町238